

ワークシート④ 「小説に書かれていない場面を想像して、考えを交流しよう」

一年 組 号 ( )

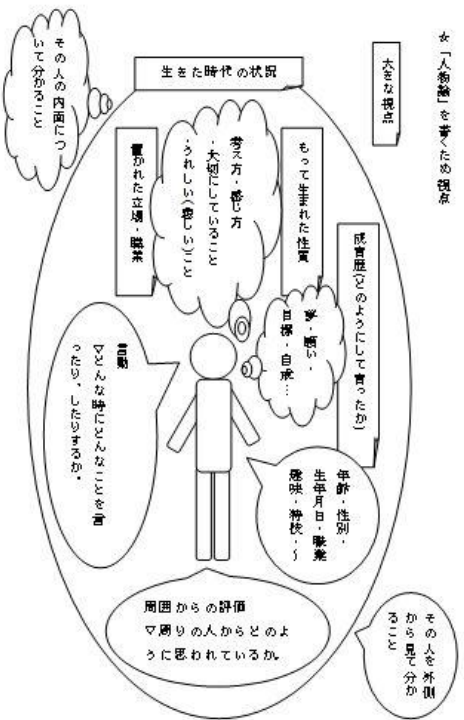
- 心情や行動を表す語句に注意して読み、人物像をとらえましょう。
- 「僕」と「エーミール」についての説明の言葉や、心情や行動を表す言葉にマーキングをしましょう。

○ 「僕」と「エーミール」についての説明の言葉をまとめて、人物像を考えましょう。

観点	「僕」		「エーミール」	
	年齢・性別	八つか九つ、十歳、(十二歳)	年齢・性別	
家族構成	両親、妹たち	家族構成	父親(先生)	
呼称(呼び方)		呼称(呼び方)	隣の子供、先生の息子、模範少年、専門家、こっぴどい批評家	
性格	趣味	ちよう集め、遊戯のとりこ、	趣味	こぎれい、手入れが正確
	行動	ないしよにし、妹だけに見せる習慣 二度と彼に獲物を見せなかった。	行動	
	心情	熱情が身にしみて感じられる、むさぼ るよううつつとりした感じ、喜び…	心情	
	会話 言葉		会話 言葉	二十ペニヒぐらいの現金の値打ちはある、と値踏みした。難癖をつける (こっぴどく批評する)
出来事	コムラサキを見せる	出来事		

○ 心情や行動を表す言葉の意味を調べて、理解を深めましょう。

熱情	ある物事に対する純粋で強烈な思い。㊦情熱
ねたむ	他人のしあわせや長所などをうらやんで、にくらしいと思う。
嘆賞する	心から素晴らしいと思ひ、ほめたたえること。㊦賞賛
鑑定する	ほんものかにもせものか、どのくらいのおうちがあるのかなどを見極めること。
批評する	ものごとのよしあしについて、意見を述べること。



「熱情」には、ある物事に対する純粋で強烈な思いという意味がある。「僕」は大人になった「今も」その「熱情」を感じるくらいなので、とても純粋な心をもった子どもだったと思う。

☆言葉の意味を調べて気付いたことや理解が深まったことを書きましょう。

○「僕」と「エーミール」の人物像をまとめましょう。

※A3につなげてお使いください。

《最初の自分の考え》

《交流後の自分の考え》

「エーミール」の人物像	関係	「僕」の人物像
<p>「非の打ちどころがないという悪徳をもっていた。それは、子供としては二倍も気味悪い性質だった」とあることから、子供らしくない子供だったと思う。珍しいコムラサキを見ても、感動する様子は見せず、鑑定や批評をするだけだった。</p>	<p>→ 僕はエーミールにとって~という存在である。(ただの隣の子供)</p> <p>関係 (隣同士)</p> <p>← エーミールは僕にとって~という存在である。隣の子ども、模範少年ねたみ、嘆賞しながら彼をにくんでいた。</p>	<p>ちよう集めに夢中になる子供らしい子供であった。ちよう集めの時には、緊張と歓喜、微妙な喜びと激しい欲望などを感じ、今でもその熱情が身にしみて感じられるほどである。しかし、立派な道具をもたなかったために、人をねたんだり、にくんだりした。</p>
<p>交流後</p>		
<p>「非の打ちどころがないという悪徳をもっていた。それは、子供としては二倍も気味悪い性質だった」とある通り、子供らしくない子供だった。ちようの収集も、正確で、高度な技術ももっていて、まるで鑑定家や批評家のようにちようを取り扱っている。神経質でプライドの高い、模範少年であった。</p>	<p>→ 僕がエーミールにとって~という存在である。(粗暴で幼稚な子供)</p> <p>関係 (隣同士) (同じ趣味をもつ仲間)</p> <p>← エーミールは僕にとって~という存在である。(羨望の的)</p>	<p>ちよう集めに夢中になる子供らしい子供であった。自分の宝物であるちようをはじめは喜んで友達に見せていたが、立派な道具を持たないために、引け目を感じて、人には見せで、多感で純粋な子供であった。</p>

☆性格や行動傾向を表す言葉などを使ってみましょう。

- ・ 明るい、暗い、内向的、外向的、積極的、消極的、前向き、後ろ向き…
  - ・ 強い、弱い、剛健(こうけん)、脆弱(ぜいじやく)、鈍感、敏感、おおらか、こまやか…
  - ・ 陽気、明朗快活、さっぱり、あっさり、気さく、竹を割ったような性格、楽観的…
  - ・ 陰気、気難しい、疑り深い、感傷的、涙もろい、悲観的、神経質、…
  - ・ 子どもらしい、大人らしい、男らしい、女らしい、子どもっぽい、大人っぽい…
  - ・ 情熱的、直情径行、慎重、冷静、短気、短慮、大胆、無神経、飽きっぽい、粘り強い…
- ☆関係を表す言葉も使ってみましょう。
- ・ 幼なじみ、同い年、同級生、友達、ライバル、敵、味方、仲間、チーム、仲良し、知り合い
  - ・ 親密、疎遠、親友、仇敵(きゆうてき)、似た者同士、対照的、憧れ、羨望(せんぼう)の的…